

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

1

平成14年
(2002年)
月号
NO.542



もうすぐおばあちゃん
初孫誕生が待ち遠しい

(12/19 孫育て学級)



あいさつ 新年

勇気をもつて

挑戦する年に

朝日町長 清野 隆

町民のみなさま、あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えて、みなさまのご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。日ごろより町政各般へお寄せいただいたいておりますお力添えに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、21世紀最初の年でありましたが、アメリカにおける同時多発テロ事件の発生、リストラの本格化、狂牛病の発生といった深刻な出来事がおこるなど、激動の幕開けとなりました。新世紀を迎えて、まだ不透明な出口の見えない状況が続いていますが、本格化する分権型社会を迎え、住民活動の確かな胎動を感じた年でもあり、明るい未来を信じ、元気なまちづくりのため決意を新たにしているところであります。

今日、多くの課題をかかえておりますが、りんごの新品種「あじびか」の初出荷といった産業振興策の推進、行政改革の遂行による効率的な行政運営の推進、若者向け町営住宅「みどりハイツ」の建設など、次代を視野に入れた施策を展開してまいりました。これからも、英知を結集しながら、果敢に挑戦し一歩一歩着実に進めていくことが肝要と存じます。町民のみなさまとともに、美しい自然と共生する、本当に住んで良かったと思える町づくりのため、全力を傾注して参る所存でありますので、益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

胸ふくらませて迎えた新年が、みなさまと町にとって最良の年となります。まずことをご祈念し、年頭のごあいさついたします。

今年 は千年うまどし



人と馬との長いつきあい

「馬には乗ってみよ、人には添って見よ」馬の背をわけ「生き馬の目を抜く」など、馬に関する慣用語やことわざは数知れません。馬がいかに人と深くかかわってきたかがうかがわれます。

馬が最初に家畜化されたのは、今から五千年ほど前の中央アジアのこと。以来、人や荷物を運んだり、物をつっぱたり、農耕を助けたり、戦場で働いたり、さまざまな場面で大きな役割を果たしてきました。その国や地域に

年頭のご 謹賀



町民の意を大切に

創意と工夫で前進

朝日町議会議長 川口 幸次郎

町民のみなさま、あけましておめでとうございます。みなさまには、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。日ごろから議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は春先の雪害による影響が懸念されましたが、生産者の努力とその後天候に恵まれ、農作物の出来も良好な年でした。工業面では、急速に工業化が進むアジア諸国の影響で、大変厳しい状況が続いています。また、国内外を見ますと、米中枢同時多発テロ事件や狂牛病問題、景気の減速等その対応に迫られています。

二〇〇二年を迎え、地方分権が実施されて三年目に入り、町の独自性、手腕が評価される時期にきております。第四次朝日町総合発展計画を基本に町民の意を大切に、地域の均衡ある発展を図るため、厳しい時こそ町民との対話を重ね、創意と工夫をめぐらし、苦勞を共にしながら一歩一歩前進しなければならぬと思います。

長引く景気の低迷で、厳しい財政運営は国・県・町も同じだと思えます。議会といたしましては、議会の活性化と町民の夢かなえる町づくりを全力を尽くしてまいりたいと思っております。

本年も町民のみなさまのご多幸と、朝日町のますますの発展をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大昔からいる馬を「在来馬」と呼びますが、日本では現在、北海道、長野、宮崎、沖縄などに計八種類がいます。これらの馬の先祖が、いつごろ、どういうルートで日本列島に渡ってきたのかは、まだはっきり分かっていません。しかし、縄文・弥生時代には、役割はつきりしないながら、馬がすでに家畜のように利用されていたようです。古墳時代の遺跡からは馬の遺骸も出土しています。

願いごとを絵馬に託す

馬は、人間の願いごとにも関係があります。そう、絵馬です。その昔、神に祈願してかなえられたとき、神馬とするように馬を献納しました。しかし、貧しい民は馬を納めることができないので、代わりに馬の絵を描いたり、馬の形に作った木片を献じたりしました。それが絵馬の始まりだといわれています。

午年の今年もまた、人々の願いを込めた絵馬がたくさん献納されることでしょう。

十二月定例町議会報告

議 会

十二月定例町議会が、十二月十二日から十四日まで開かれました。朝日町教育委員会委員任命の人事案件、一般会計補正予算など十一議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

人 事

◆教育委員会委員の任命同意

白田和好前委員の任期満了にともない空席となっていた朝日町教育委員会委員に、遠藤清実氏（栗木沢）が任命同意されました。

◆人権擁護委員の推薦同意

松田俊子委員の辞職にともない、新たに長岡輝美氏（常盤）が推薦同意されました。

町政報告

【総務課】

清野町長が十月二十五日付けで、村山地方町村会の会長に就任しました。

平成十四年度職員採用試験の

結果、理学療法士一人、看護婦二人の採用を内定しました。

【企画課】

十月三十一日に創遊館で「市町村合併セミナー」を開催しました。合併問題については、今後町民のみなさんに的確な情報提供を行っていきます。

【健康福祉課】

平成十四年度の保育園入園希望者は十二月一日現在で、さゆり保育園百人、ふたば保育園三十六人、わかば保育園四十二人です。昨年同期より三人少なくなっています。

【介護課】

介護保険の介護認定者数は、十月末日現在で三百四十七人です。昨年同期と比較して一四・五%の伸びとなっています。



みなさん西部地区婦人会の代表者が議会の傍聴

のうち実際にサービスを利用している人は三百人、利用率にして八六・五%となっています。利用の内訳は、ホームヘルパーなどの在宅サービス利用者が六六・三%、ショートステイなどの施設サービス利用者が三三・七%です。

【町民課】

平成十四年四月一日から国民年金保険料の納付先が社会保険庁へ変更になり、納付方法も口座振替方式に変わります。就業形



境にあり、関係機関と連携をとりながら雇用対策に努めています。

【農林課】

中山間地域等直接支払事業は、新たな集落協定締結の推進を行い、昨年度分と合わせて五十二団地二百三ヘクタールの農地（水田百八十三ヘクタール、畑二十ヘクタール）が交付金の支払い対象となる見込みです。

今年度の転作面積は約二百二十ヘクタールで一〇〇・八七%の達成率となりました。助成金を年内に交付できるよう準備を進めています。

【農業委員会】

新農業者年金制度が平成十四年一月から施行されますが、新制度加入者は現行加入者の三割強程度にとどまる見込みです。

【建設課】

工事を進めていた町道松原線、赤釜線、四ノ沢線、粧坂玉ノ井線は十一月に完成しました。和合バイパス工事は、町道釜山新線への交差点まで完了し、近日中に供用開始の予定です。左沢浮島線大暮山、大沼地内の改良工事も、早期完成に向けて進んでいます。長井大江線西船渡、夏草地内の自歩道設置工事は、一月末の完成を予定しています。

みどりハイツは、八戸のうち

【税務課】

地籍調査事業について、平成十一年度一筆地調査（立木、白倉）は登記を完了しています。平成十二年度調査（立木、太郎）は面積確定作業を進めています。平成十三年度現地一筆地調査（太郎）は十月下旬で完了しています。

【商工観光課】

町内企業において十一月末に工場閉鎖が一件、休止が一件ありました。さらに十二月末には閉鎖が一件と一部解雇を予定している企業もあると聞いています。雇用情勢が一段と厳しい環

農業の振興発展を担う



当選証書を受けとる委員のみなさん

新農業委員決まる

任期満了にともない、十一月二十二日に告示された朝日町農業委員会委員選挙は、定員十三人に対して一人少ない十二人が立候補しました。定員に満たず、前回と同様無競争での当選となりました。

改選後初の委員会は十二月二十一日に開かれ、会長に長岡壽一氏、会長職務代理に布施国男

氏が選出されました。

同委員会は、町の農業振興対策や農地の有効利用促進などを審議する機関として重要な役割を担っています。所有権の移動や転用など農地に関することは、お近くの農業委員または農業委員会事務局（☎67-3307）までお気軽にお問い合わせください。

朝日町農業委員会

会 長	長岡 壽一(常 盤)
職務代理	布施 国男(采 町)
農地部長	若月 慶一(西船渡)
同副部長	安藤 善徳(杉 山)
農地部	鈴木 義昭(大暮山)
	長岡 誠雄(石須部)
	長岡日出夫(太郎一)
〃 J.A選出	長岡 健治(常 盤)
〃 議会選出	安藤 正義(杉 山)
農政部長	鈴木 秀一(松 程)
同副部長	遠藤 邦昭(舟 渡)
	岡崎 吉博(水 本)
	白田 榮一(大谷一)
	長岡 孝壽(太郎一)
〃 共済選出	阿部 賢一(今 平)
〃 議会選出	長岡 健一(石須部)

七戸が入居しています。栗木沢団地は、十四区画のうち五区画が残っており、今後も分譲促進に力を入れていきます。

除雪オペレーター十七人を十二月一日付けで雇用しました。除雪車両十六台を稼働させながら交通確保に努めます。

合併浄化槽の設置申し込み数は現在八十五基となっています。説明会を開催しながら、さらに推進を図っていきます。

【町立病院】

十月三十一日現在の経営状況は、入院患者数延べ七千七百人、前年度より約六百人の増、外来患者数延べ三万千八百人、前年度より約二千五百人の増となっています。収支の状況は、千八百八万三千円の不採算となっていますが、前年度同期と比較して百十五万円好転しています。

【水道事業所】

三中地内と栄町地内の老朽管更新工事は、十二月中の完成をめざして順調に進んでいます。

【管理課】

宮宿小学校校体育館の天井板改修工事を十月に行いました。水本小学校と宮宿小学校、山辺町立作谷沢小学校との統合について、十一月十五日に両町長、学区民代表などが会合し、平成十四年四月一日をもってそれぞれ



9月に完成した若者向け町営住宅「みどりハイズ」。現在7世帯が入居している。

れの学校と統合することを書面です承、確認しました。

全国的に狂牛病に関わる問題が発生し、当町でも学校給食について牛肉の使用を一時中止する措置をしてきましたが、国・県の検査体制が整備されたこともあり、一月以降に再開したいと考えています。

【生涯学習課】

文部科学省の補助を受けて「りんごシンポジウム」を行いました。「産業まつり」「りんごまつり」とタイアップして十月十八日に開催しました。

今年、大沼分校には3人の1年生が入学してきます。3年ぶりに1年生が入ってくるので、とってもたのしみです。その時はもう6年生なので、1年生のみんなに分校のことをたくさん教えてあげたいです。それに、3人が入学してくると、となりの教室がにぎやかになるし、新しい先生も来るのでとってもうれしいです。私は今年1年間みんなと仲よくしていくことをめあてにがんばります。

小林 杏菜さん
(大沼・11歳)



新1年生の入学がとってもたのしみです



阿部今朝夫さん
(西原・59歳)

一ツ沢から西原に移り住んでから30年が過ぎました。転居と同時にお世話になった会社も3月末で定年を迎えます。今年は、今までできなかった山菜採りやナメコの栽培を思い切りやってみたいと思っています。山登りも好きなので、いろんな山の表情を写真に撮りたいですね。でも、孫が生まれる予定なので全部はムリかな。これからの30年は、自分にあった仕事を探し、趣味に重点を置いて暮らしていきたいですね。

山菜採りやナメコ栽培をしたいですね

うま どり

午年生まれ大集合

2002年の抱負を語る

朝日町に住む午年生まれのみなさんは合計で718人。内訳は、平成2年生まれ90人、昭和53年生まれ99人、昭和41年生まれ56人、昭和29年生まれ130人、昭和17年生まれ105人、昭和5年生まれ162人、大正7年生まれ70人、明治39年生まれ6人になっています。各年代を代表して7人のみなさんに今年の抱負などをうかがってみました。

2月に子どもが生まれる予定なので、今から楽しみにしています。元気に生まれてくれれば、男女どちらでもかまいません。名前を考えている最中ですが、付けたい名前が多すぎて悩んでいます(笑)。

育児にも積極的にかかわっていきたくと思っています。おふろの入れ方やミルクの与え方なども一生懸命勉強してますよ。やさしい父親になりたいですね。早く顔が見たいな～



長岡 純一さん
(西町・23歳)

早く子どもの顔が見たいです

清野すみゑさん
(四ノ沢・71歳)



親しい友人に誘われ、書を習ってから10年が過ぎました。2番目の孫、駿の子守をしながらの手習いでした。その孫も小学校の6年生です。ここまでやってこれたのも、書を通してささえ合う友人がいたからです。心の宝です。まだまだ未熟な私ですが友人にささえられて孫の駿が成人するまでは書を楽しみたいものです。

「春は花 夏ほととぎす 秋は月」という句がありますが「書」は季節を問わない楽事だと思っています。

今年も楽しみながら書を習いたいですね

ふれあい荘の介護員になって4年。仕事も充実しているし、明るい仲間に囲まれて毎日がとても楽しいです。今、介護福祉士の国家試験に向けて猛(?)勉強中ですが、終わったら大好きなお酒を片手に、のんびり温泉に入りたいですね。

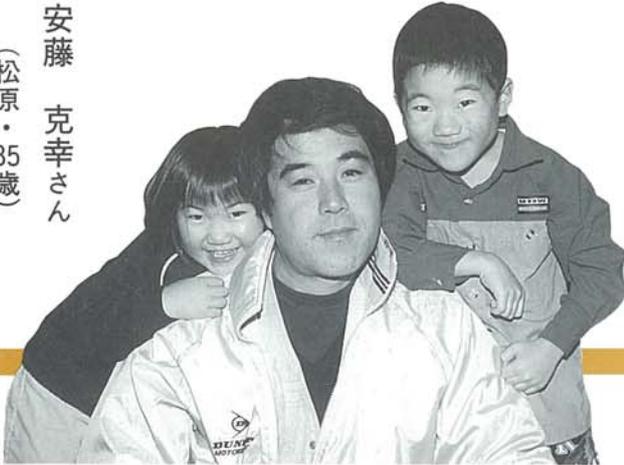
最近、結婚や就職で町を離れる友だちが多くなってきました。ちょっと寂しいです…。町内に若者の働ける職場がもっとあればいいなと思います。町長さん、若い人がたくさん住む町づくりをぜひお願いします!

鈴木真奈美さん
(松程・23歳)



試験に合格して温泉にでも行きたいな

安藤 克幸さん
(松原・35歳)



家業の建築業を継いで13年になりました。木のぬくもりある明るい家を朝日町にたくさん建てたいと思いながら毎日仕事に励んでいます。町内に新しい家がどんどん建って、そこにあったかい家族が住み、いきいきと暮らす…そんな町になればいいですね。

今年も、家族みんなが健康で暮らせればそれだけで幸せです。3人目の子どもですか? さあ、それはどうかな～。

家族みんなが健康で暮らせますように

店をかまえて今年で8年目を迎えます。“食材の持つ味を最大限生かしつつ、バラエティーに富んだうまいものをお出しする”をモットーにしてきました。今年はダチョウ料理に力を入れていきます。町の特産物になりつつあるダチョウですが、まだまだ知られていないのが現状です。燻製、ハム、ウインナーなどの新メニューを開発し、この鳥の持つ可能性を追求しながら、町に根ざした店づくりをしていきたいと思っています。

長岡 峰雄さん
(石須部・47歳)



ダチョウ料理に力を入れていきます

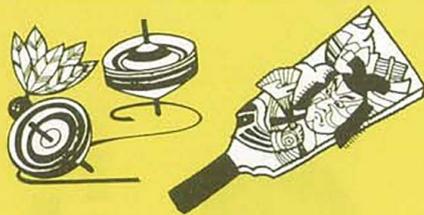


御 来 光

撮影・文 / 佐竹 伸一さん (常 盤)

静寂を破り朝日が昇る
空も雲も森も山々も深い眠りから覚め、また新しい一日が始まろうとしている
清々しい空気を胸一杯に吸い込み、
御来光を見つめる人たちの顔は、皆美しく輝いている
きらめく命、新しい自分との出会い、朝日には不思議な力がある

(鳥原小屋から撮影)



あけまして おめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。
ございます。

昨年は、自爆テロや会社の倒産、失業率の増加など、暗い出来事が多く印象に残りました。そんな中、皇太子ご夫妻の初めのお子さま、敬宮愛子さまのご誕生になられ、私たちに明るい話題を与えてくださいました。

さて、昨年の広報あさひまちに掲載された出生児数を調べてみたところ五十九人でした。平成十二年に比べて四人増えています。わずかな増加ですが、とてもうれしく思いました。今年は広報のスペースが足りなくなるくらいに、たくさんの赤ちゃん、町の宝が生まれることを期待したいものです。

私たち広報委員は、町民のみなさんの声を町に届ける「町民と行政とを結ぶパイプ役」として活動しています。ニュースや話題、感想、ご意見などありましたら、ぜひお近くの広報委員にご連絡ください。

今年も町民のみなさんに愛され、親しまれる広報紙づくりをめざしてがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成十四年元旦

朝日町広報委員会

